

告知解禁：即日

一本のハンドルとマイムにより、自転車ロードレースを表現
舞台『弱虫ペダル』 SPARE BIKE篇～Heroes!!～
キャストコメント&舞台写真



【大阪】2021年3月19日(金)～21日(日) サンケイホールブリーゼ
 【東京】2021年3月26日(金)～28日(日) 日本青年館ホール



©渡辺航(秋田書店)2008 / 舞台『弱虫ペダル』製作委員会

3/19 (金) より開幕の舞台『弱虫ペダル』 SPARE BIKE篇～Heroes!!～
舞台写真、および、キャストコメントをお届けします！

累計発行部数は2,500万部を突破！様々なメディアミックスで盛り上がりを見せる、大人気自転車ロードレース漫画化『弱虫ペダル』（渡辺航／秋田書店「週刊少年チャンピオン」連載）を原作とした演劇作品、舞台『弱虫ペダル』（通称：ペダステ）。気鋭の演出家・西田シャトナー氏の類まれなる演出技法と、実力派俳優陣の熱演が話題となり、2012年から上演され、舞台関係者など多くの方から賞賛をいただいている作品です。

主人公・小野田坂道が総北高校に入学して自転車ロードレースに出会い活躍する「インターハイ篇」を経て、2年生となった「新インターハイ篇」シリーズは、2020年2月の「POWER OF BIKE」公演にてファイナルを迎え、大好評のうちに幕を閉じ、舞台『弱虫ペダル』のターニングポイントのひとつとなりました。

今作は、サイドストーリーである「SPARE BIKE」が原作となり、坂道の先輩たちの過去の物語を中心に、本編とは一味違った『弱虫ペダル』の物語を舞台上で描きます。

劇場での上演に加え、配信も実施！様々な場所で「ペダステ」をお楽しみいただけます。
 熱いストーリーを劇場や、スマートフォン・PCで、ぜひ体感してください！

舞台『弱虫ペダル』 SPARE BIKE篇～Heroes!!～

今作は『弱虫ペダル』のサイドストーリーである「SPARE BIKE」を原作としており、Heroes!!というタイトルからは、主人公・小野田坂道の先輩たちへの思いやりスペクトが伝わってきます。「SPARE BIKE篇」は、先輩たちの過去の物語を中心に、本編とは一味違った『弱虫ペダル』の物語を舞台上で描いていきます。

今回からキャストがほぼ一新され、新しい坂道役の曾田陵介がママチャリで登場するところから物語が始まります。坂道はストーリーテラー的なポジションとなり、総北高校の巻島、金城だけでなく、箱根学園の福富、荒北、東堂、新開、広島呉南の待宮、井尾谷、そして京都伏見の石垣といった、坂道が一年生だった時の先輩たちの知られざる過去を描いていきます。

また終盤には、大学生となった彼らのエピソードも展開されており、そしてカーテンコールでは、公演直前に振付け動画が公開され話題となった「恋のヒメヒメ☆ぺったんこ」が約5年ぶりに「ペダステ」に復活！新キャストでのキラのある踊りにもご期待下さい！！

キャストコメント



小野田坂道 役：曾田陵介

今回、舞台『弱虫ペダル』に小野田坂道役として出演させていただけること、本当に嬉しく思います。原作の「SPARE BIKE」は全てのエピソードがとても熱く、笑いあり涙ありの感動ストーリー。それを西田シャトナーさん演出のもと、「SPARE BIKE篇」として舞台上から皆様にお届けできることがすごく楽しみです！すぐにのめり込める物語になっていますし、原作の細かいポイントも見つけて頂けると思いますので、ぜひ劇場でお楽しみください。誰1人欠けることなく、千秋楽まで駆け抜けます！



巻島裕介 役：田淵累生

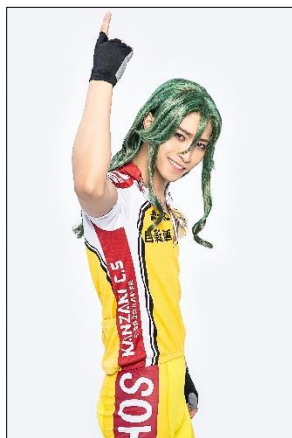
巻島裕介を演じさせていただく田淵累生です。僕以外にも今回が「ペダステ」初出演という方が多く、全員で支え合いながらこの舞台を創ってきました。「SPARE BIKE篇」ということもあり、また新たな「ペダステ」をお客様にお届けできるのではないかと思います。僕自身好きな名場面ばかりなので、稽古場で毎回感動していました。期待しててください！劇場でお会いしましょう。ケイデンス、フル回転で頑張りますので応援よろしくお願いします！



金城真護 役：林田航平

「ペダステ」を楽しみにして下さっている皆様、誠にありがとうございます。いよいよ本番を迎えます。すごい素敵な座組です。とても魅力的なメンバーが集まっています。メインキャラクター以外の役や場面転換なども、皆で協力しながら作ってきました。そこが見どころでもあります。観に来て下さった方々が少しでも元気になれるよう、思い切って芝居をしていきたいです。楽しんでいただけるよう頑張ります！そして僕自身も『弱虫ペダル』の世界を一杯楽しんで演じて参りたいと思っています。この泥臭く汗臭いキラキラした物語を、より多くの方々に観て頂きたいです。劇場でお待ちしております。

キャスト



小野田坂道 役：曾田陵介

巻島裕介 役：田淵累生

金城真護 役：林田航平



福富寿一 役：勇翔



荒北靖友 役：時人



東堂尽八 役：遼太郎



新開隼人 役：高田舟

キャスト



待宮栄吉 役：前田隆太郎



井尾谷諒 役：田内季宇



石垣光太郎 役：岡田翔大郎



小関将 役：君沢ユウキ



糸川修作 役
パズルライダー監督：
伊藤玄紀



寒咲通司 役
パズルライダー：
村上渉



パズルライダー：
田上健太



パズルライダー：
山口拳生

舞台『弱虫ペダル』SPARE BIKE篇～Heroes!!～

Blu-ray & DVD発売決定！

特設サイト：<http://www.toho-a-park.com/yowapeda/sparebike/>

◇発売日：2021年8月18日（水）

◇価格：【Blu-ray】10,780円（税抜9,800円）【DVD】9,680円（税抜8,800円）

◇発売元：株式会社マーベラス 販売元：東宝株式会社

◇仕様：Disc 1本編/Disc 2特典映像

【封入特典】ブックレット

【特典映像】メイキング映像（稽古場、バックステージなど）、日替わり映像

【事前予約特典】予約期間：4/4（日）23:59まで

L版サイン入りブロマイド(舞台写真)13枚セット&オリジナルアルバム※サインは複製となります

【店舗別特典】TOHO animation STORE、アニメイト、Amazon、他

ライブ配信情報

dアニメストアにてライブ配信実施決定！

特設サイト：<https://anime.dmkt-sp.jp/animestore/CP/CP00001271>

◇ライブ配信公演：

大阪公演：2021年3月21日(日) 17:00公演（大阪 千秋楽公演）

東京公演：2021年3月27日(土) 17:00公演

◇販売価格：各3,700円（税込）※ライブ配信購入時にサービス手数料として別途220円が発生いたします

◇販売期間：

大阪公演：2021年3月13日(土)12:00～2021年3月28日(日) 21:00

東京公演：2021年3月21日(日)12:00～2021年4月3日(土)21:00

※ライブ配信終了後にご購入いただく場合は、アーカイブ配信のみ視聴可能となります

◇アーカイブ視聴期限：

大阪公演：ライブ配信終了後から2021年3月28日(日)23:59まで

東京公演：ライブ配信終了後から2021年4月3日(土)23:59まで

◇販売サイト：dアニメストア SPWN

◇ライブ配信に関するお問い合わせ：<https://spwn.zendesk.com>

グッズ

公演グッズが販売中！

ラインナップ：<https://www.marv.jp/special/pedal/goods.html>

◇公式通販：<https://collection.rakuten.net/marv/pedal/>

◇店舗販売：

・アニメイト店舗（池袋本店、渋谷店、梅田店）

公式HP：<https://www.animate.co.jp/shop/> 販売日時：3月12日（金）～4月4日（日）

・2.5次元ショップ 池袋店

公式HP：<http://benelic.com/2.5zigen/>

公演概要

◆公演タイトル：舞台『弱虫ペダル』 SPARE BIKE篇～Heroes!!～

◆原作：

渡辺航『弱虫ペダル』（秋田書店「週刊少年チャンピオン」連載）

渡辺航『弱虫ペダル SPARE BIKE』（秋田書店「別冊少年チャンピオン」連載）

◆演出・脚本：西田シャトナー

◆音楽：manzo

◆公演日程・劇場：

【大阪公演】2021年3月19日(金)～21日(日) サンケイホールブリーゼ

【東京公演】2021年3月26日(金)～28日(日) 日本青年館ホール

◆キャスト：

小野田坂道 役：曾田陵介 巻島裕介 役：田淵累生 金城真護 役：林田航平

福富寿一 役：勇翔 荒北靖友 役：時人 東堂尽八 役：遼太郎 新開隼人 役：高田舟

待宮栄吉 役：前田隆太郎 井尾谷諒 役：田内季宇

石垣光太郎 役：岡田翔太郎 小関将 役：君沢ユウキ

糸川修作 役 パズルライダー監督：伊藤玄紀 寒咲通司 役 パズルライダー：村上渉

パズルライダー：田上健太 パズルライダー：山口拳生

◆チケット：ローソンチケットにて販売中 <http://l-tike.com/pedal-s/>

◇プレミアムチケット ¥12,000 (税込) ※劇場にてプレミアムチケット限定グッズ (非売品) をお渡しいたします

◇一般席 ¥9,000 (税込)

◇チケットに関するお問い合わせ：ローソンチケット <https://l-tike.com/contact/>

◆ライブ・アーカイブ配信：

◇販売サイト：d アニメストア SPWN <https://anime.dmkt-sp.jp/animestore/CP/CP00001271>

◇ライブ配信公演：

大阪公演：2021年3月21日(日) 17:00公演 (大阪 千秋楽公演)

東京公演：2021年3月27日(土) 17:00公演

◇販売価格：各3,700円 (税込) ※ライブ配信購入時に、サービス手数料として別途220円が発生いたします。

◇販売期間：

大阪公演：2021年3月13日(土)12:00～2021年3月28日(日) 21:00

東京公演：2021年3月21日(日)12:00～2021年4月3日(土)21:00

※ライブ配信終了後にご購入いただく場合は、アーカイブ配信のみ視聴可能となります。

◇アーカイブ視聴期限：

大阪公演：ライブ配信終了後から2021年3月28日(日)23:59まで

東京公演：ライブ配信終了後から2021年4月3日(土)23:59まで

◇ライブ配信に関するお問い合わせ：<https://spwn.zendesk.com>

◇公演に関するお問い合わせ：

マーベラス ユーザーサポート ※現在、電話での問い合わせを休止しております

お問い合わせフォーム <https://www.marv.jp/support/form/?mode=st>

◆公式サイト：<http://www.marv.jp/special/pedal/>

◆公式ブログ：<http://ameblo.jp/y-pedalstage/>

◆公式twitter：@y_pedalstage

©渡辺航 (秋田書店) 2008 / 舞台『弱虫ペダル』製作委員会

弱虫ペダルとは

2008年より『週刊少年チャンピオン』（秋田書店刊）にて大好評連載中の、渡辺航が描く漫画作品。ロードレースという自転車競技を題材にし、男女問わず漫画ファン、自転車愛好家など多くの人から支持され、コミックス累計2,500万部を突破した今最も熱いスポーツ少年漫画。孤独なアニメオタク少年の小野田坂道が、総北高校自転車競技部の仲間と共にインターハイを目指し、その中でライバル校である王者・箱根学園や京都伏見高校らのメンバーと切磋琢磨しながら成長していく物語。

2013年10月にTVアニメ化され、2014年10月に第2期、2017年1月に第3期、2018年1月に第4期を放送。2015年8月には劇場版アニメが公開。2016年8月に放送した実写ドラマも好評を博し、2017年8月には「Season2」を放送。2020年には実写映画が公開され大ヒットした。

現在『週刊少年チャンピオン』にて連載中の原作漫画では、2年生の小野田坂道が新キャプテンに任命され、新章へと突入したことで更なる盛り上がりを見せている。

弱虫ペダルSPARE BIKEとは

現在『別冊少年チャンピオン』にて大好評連載中の渡辺航自ら手掛けるスピンオフシリーズ。

「弱虫ペダル」本編の連載開始時に3年生だったキャラクターたちの知られざる過去のドラマが描かれている。チームを引っ張る、頼れる存在の3年生たちにも、そのポジションに上り詰めるための軌跡があった。自転車に全てをかけた男たちの記憶の物語である。2016年9月にはアニメ映画化も果たした。

現在『別冊少年チャンピオン』にて連載中の原作漫画では、高校卒業後を描く大学編が描かれ話題となっている。

舞台『弱虫ペダル』とは

気鋭の作・演出家である西田シャトナー氏が、独自に生み出した表現技法“パズルライドシステム”を駆使し、舞台化不可能と言われていたロードレースという自転車競技を舞台上で表現。一本のハンドルと俳優によるマイムで自転車を走らせているような演出方法は、演劇界の革命的手法と各方面から賞賛された。

舞台上で幅広く活躍する躍進的な実力派俳優たちはロードレースを表現するため、舞台上を縦横無尽に全力で疾走する。舞台袖にはけると倒れ込んで酸素を吸引しなくてはならないほど、本気の走りと汗による「熱気」は観る者の心を「熱く」させ、多くの観客を感動させている。

2012年の舞台『弱虫ペダル』（=初演）から、インターハイの3日間を描く「インターハイ篇」やライバル校・箱根学園メンバーをフィーチャーした「箱根学園篇」、小野田坂道が2年生になり新体制となったチームを描く「総北新世代、始動」や「箱根学園（ハコガク）新世代、始動」といった作品を経て、2017年2月公演から始まった「新インターハイ篇」は、2020年2月の公演で3日目のゴールまでを描くファイナルを迎えた。2021年3月の新作公演では、ペダステ史上初の『弱虫ペダル SPARE BIKE』を原作として、舞台を展開する。

その他にも、2017年にはフランス・パリで開催された「Japan Expo2017」でのステージイベントにてフランスの人々に熱狂をもって受け入れられ、俳優たちの「熱演」は言葉の壁を越え、観客に伝わることを証明したエピソードとなった。

